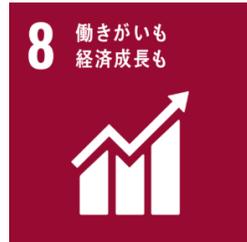


SDGs

S : Sustainable D : Development G : Goals

持続可能な開発目標



 <p>1 貧困をなくそう</p>	 <p>2 飢餓をゼロに</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>1、貧困をなくそう 「あらゆる場所のあらゆる貧困を終わらせる」 発展途上国にみられる極度の貧困に対する対策はもちろん、社会や環境に対する対策なども含まれる。</p>	<p>2、飢餓をゼロに アフリカではいまでも4人に1人が十分な食事を摂取できておらず、栄養が足りていない人は世界に8億人以上いる。 = 安定して食料を生産できるシステムの構築が大切。</p>	<p>3、すべての人に健康と福祉を 世界中すべての人が適切な予防、そして治療が受けられることが必要。医療に関する研究開発への支援や安価な医薬品を作ることも課題となっている。</p>	<p>4、質の高い教育をみんなに ジェンダーや貧富の差による教育格差はいまだに残っている。最低限の識字・算術能力を達成させるためにも、質の高い教育の提供が必要とされている。</p>	<p>5、ジェンダー平等を実現しよう 議員や会社の取締役に占める女性の割合や、家事育児への時間を女性のほうが3倍以上費やしていることなど男女平等な社会への改善の余地は多く残されている。</p>	<p>6、安全な水とトイレを世界中に 日本では安全な水の供給ときれいなトイレの利用ができるが、世界では多くの地域で実現できていない。水不足の解決や生態系の保護、インフラ整備などを早急に整える必要がある。</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	 <p>12 つくる責任つかう責任</p>
<p>7、エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人が手ごろな価格で質の高いエネルギーを得られるように、特に再生可能エネルギーに関する取り組みが必要だと考えられている。</p>	<p>8、働きがいも経済成長も 誰もが働きがいのある人間らしい仕事をすべての人が達成するための施策が、結果として経済成長につながると考えられている。</p>	<p>9、産業と技術革新の基盤をつくろう 今でも世界で40億人がインターネットを利用できておらず、デジタル格差が広がっている。開発途上国への投資が望まれる。</p>	<p>10、人や国の不平等をなくそう 所得格差や、年齢、性別、障害、人種、民族宗教などに関わりなくグローバルな平等を実現することが望まれている。</p>	<p>11、住み続けられるまちづくりを 大気汚染やごみの適切な収集・廃棄、安全かつ安価な住宅の確保など各国で協力し改善に努める必要がある。</p>	<p>12、つくる責任つかう責任 資源効率を改善すること、経済成長させつつ資源の使用は抑えて環境問題にも影響を減らすことが目的とされている。</p>



13、気候変動に具体的な対策を

「地球温暖化」に対する対策
温暖化に伴う海水面の上昇や異常気象、平均気温の上昇などが問題となっている。また、自然災害に対する対策も急務となっている。



14、海の豊かさを守ろう

産業の進歩に伴う海洋汚染や富栄養化などにより水域の環境は大きく悪化している。近年問題となっているのはプラスチックごみの増加で、生態系にも影響を及ぼしている。



15、陸の豊かさも守ろう

人が食べている食料のうち80%が植物によってまかなわれている。しかし砂漠化や森林の面積の縮小、それに伴う動物の絶滅なども見られるため対策が必要である。



16、平和と公正をすべての人に

世界ではいまだに武力紛争や人身売買などの問題が残っている。すべての人が法に基づく適切な人権を有し、平和で安全な生活を送ることができるようになることが大切。



17、パートナーシップで

目標を達成しよう

SDGs の達成は簡単なものではない。達成には国際的な協力が不可欠であるため、世界中で結びつき、目標が達成されることが望まれている。

SDGs (=持続可能な開発目標)

…今現在生活している私たちの要求を満たし、かつ、将来の世代が必要とする資源を損なうことのない社会を作り上げるための目標。

皆さんは1年生で日本地理、2年生で世界地理を学んできましたが各国の特徴や問題点を知ることができたと思います。

日本だけでなく世界各国のことを知ることは、今後の社会を支えていく皆さんにとっては特に必要なことです。

2010年の国連サミットにて採択されたSDGsとは上に書いているように今の生活を円滑に進め、

なおかつ将来の子供たちも安心して暮らせる環境を残していくための2030年までの目標です。

10年後の2030年には皆さんも24歳になっています。大学を卒業して社会人になっている人も多いでしょう。

そのころまでに世界はどのように変わっているのか、目標は達成できたのか、それは10年後にはわかりません。

少しでもこれらの目標が達成できていることを願うばかりです。そのために継続的な努力と1人1人の協力が必要です。

